

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	防災行政無線維持管理費					
担 当 課 係 名	環境防災 課		生活環境 係		作成者	加藤隆政
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち				総合計画の ページ
	基本計画	自然災害等への防災体制の整備				
	主要施策	地域防災計画の策定				89
予 算 費 目	一般 会計	9 款 消防費	1 項 消防費	5 目 災害対策費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		88	
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	仙北市田沢湖防災行政無線管理運営規定 / 仙北市西木情報連絡施設条例 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民に防災情報の提供
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	防災情報を提供することにより、市民は安全・安心な生活ができるようにしたい
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	防災無線による防災情報等の放送

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	箇所数	箇所	93	93	
	成果指標	防災情報提供回数	回	282	176	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			8,994	6,755	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		8,994	6,755	
	人件費 (B)		—	785	807	
		職員数	—	0.1	0.1	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		—	9,779	7,562	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	105,151	81,312	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	307	241	

【事務事業の今までの成果】

火災や大雨等の際して放送することにより、市民は安心することができた

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	防災行政無線のデジタル化を推進しているが多額の費用がかかる
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	(田)生活スタイルの変化により、朝昼夕の定時放送でもうるさい等の苦情がたまにある。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	田沢湖・西木地域には無線設備があるが角館地域にはないため、角館に配備するため
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

全市に防災行政無線（デジタル波）を配備するには、まず田沢湖・西木地域の設備を改修して同じ周波数を角館地域に新規に実施する。経費は5～10億円程度かかる。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	防災行政無線を配備するには、多大な事業費を要することから慎重に事業推進に配慮する必要があると考える。

一次評価診断図

